
株式会社メガチップス

2022年3月期 第2四半期 決算説明

<https://www.megachips.co.jp/>

目次

1. 2022年3月期・2Q業績報告	3
2. 2022年3月期業績予想	9
3. 各事業の取り組み	11

2022年3月期・2Q 業績報告

2022年3月期・2Q 連結業績(P/L)サマリー

売上高、営業利益、経常利益について、主にゲームソフトウェア格納用LSI(カスタムメモリ)の需要が堅調に推移しました。なお、前第1四半期まで連結子会社であったSiTime Corporationについて、2020年6月に実施した同社株式の一部売却および同社の新株発行増資により、前第2四半期から持分法適用の関連会社となっています。そのため、前第1四半期まで含まれていた売上高は外れており、また前第1四半期には、同社株式の一部売却および同社の新株発行増資に伴う特別利益として、関係会社株式売却益が発生しています

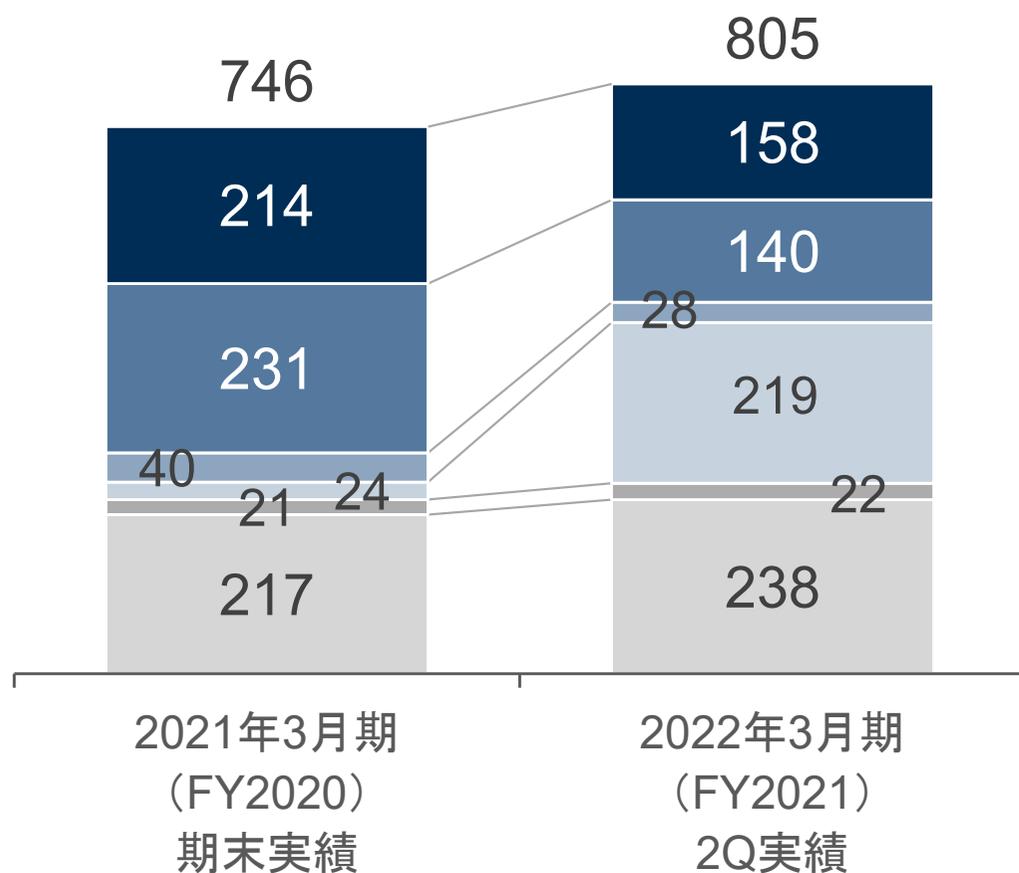
(単位:百万円)		2022/3期 (FY2021) 2Q実績	2021/3期 (FY2020) 2Q実績	対前年同期 増減率
連結	売上高	38,903	45,912	- 15.3%
	のれん等償却前 営業利益	4,112	2,982	+ 37.9%
	のれん等償却	—	583	—
	のれん等償却後 営業利益	4,112	2,398	+ 71.4%
	経常利益	3,665	1,400	+ 161.7%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,286	2,199	+ 3.9%
	1株利益(円)	108.18	101.06	+ 7.0%

※2021年3月期 2Q末為替レート:米ドル 105.80円

※2022年3月期 2Q末為替レート:米ドル 111.92円

2022年3月期・2Q 財政状態(資産)

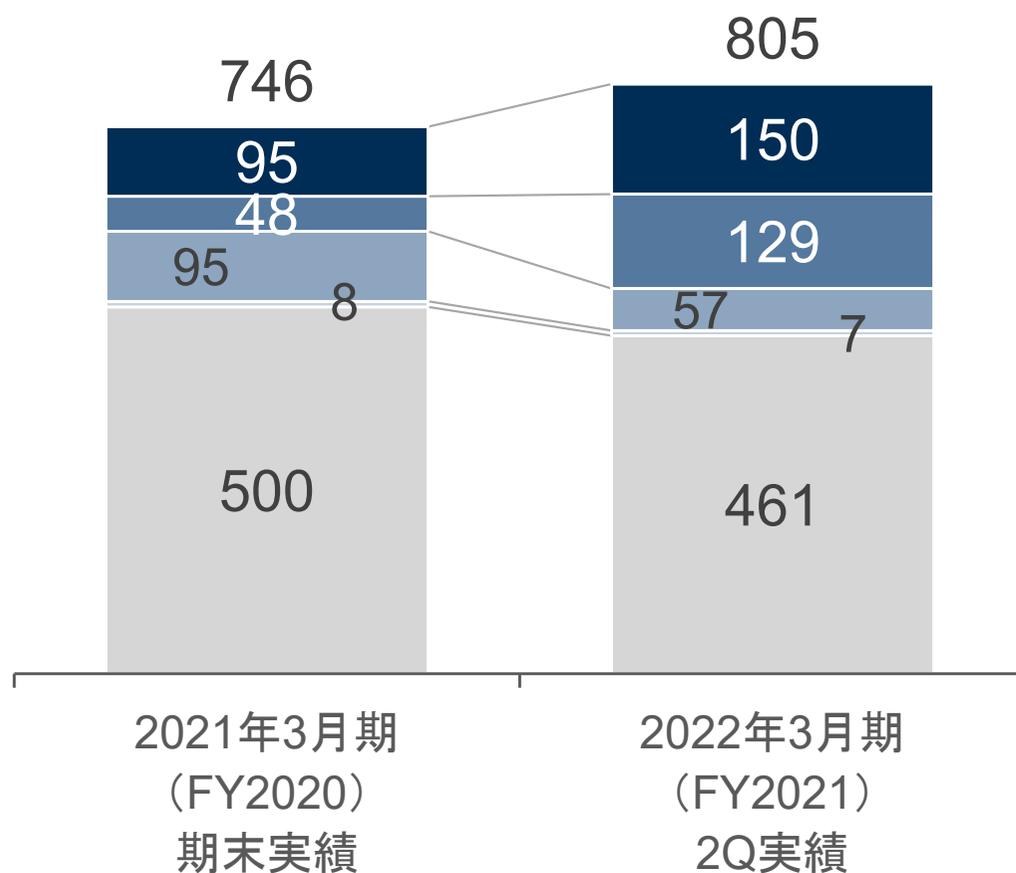
(単位:億円)



	増減額 (FY20期末 →FY21 2Q)	増減率 (増減÷ FY20期末)
現金及び預金	▲56.0	▲26%
受取手形及び 売掛金	▲91.1	▲39%
棚卸資産	▲12.3	▲31%
その他の 流動資産	195.4	+817%
無形、有形 固定資産	1.8	+9%
投資その他の 資産	20.5	+9%

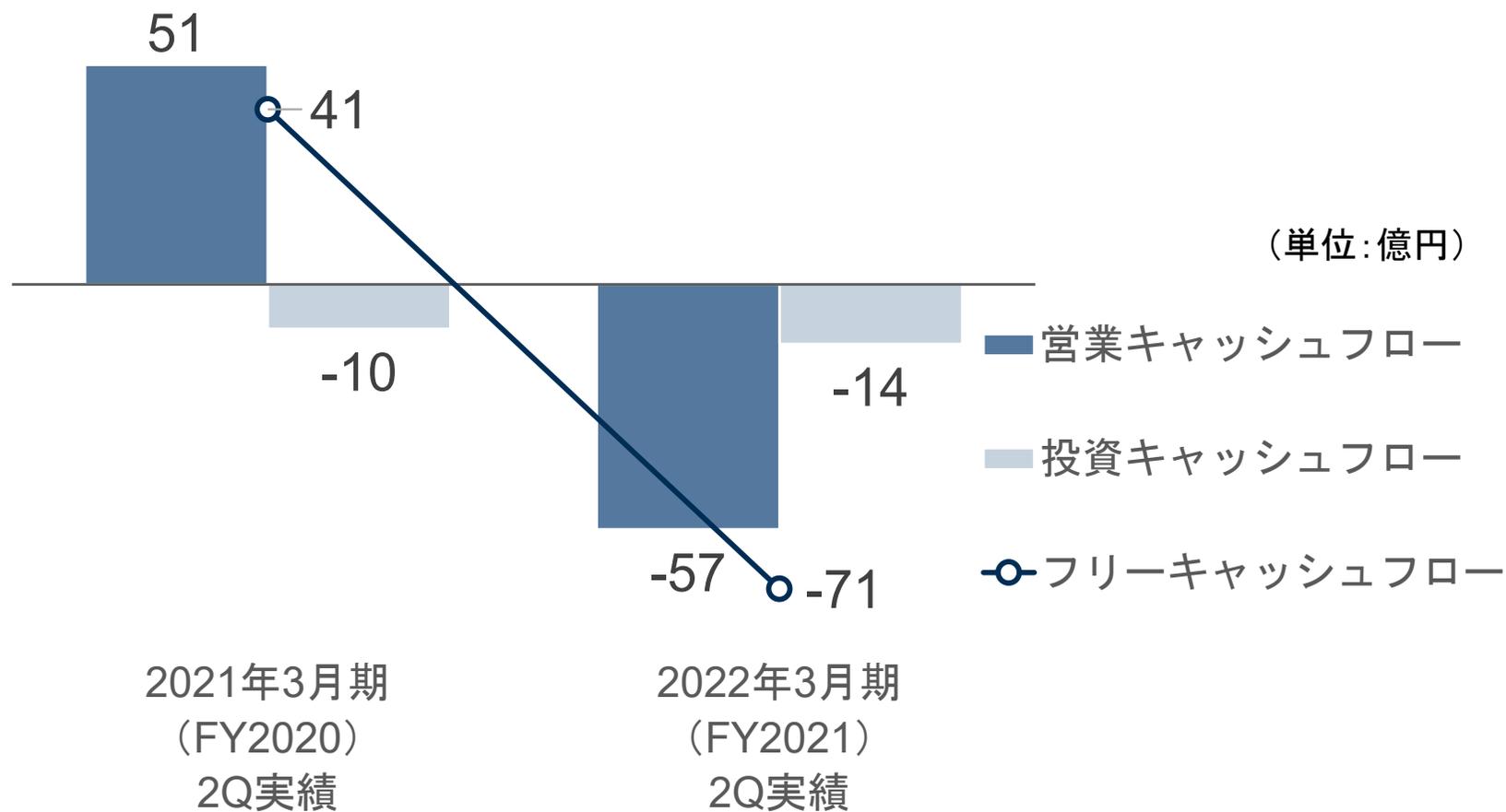
2022年3月期・2Q 財政状態(負債・純資産)

(単位:億円)



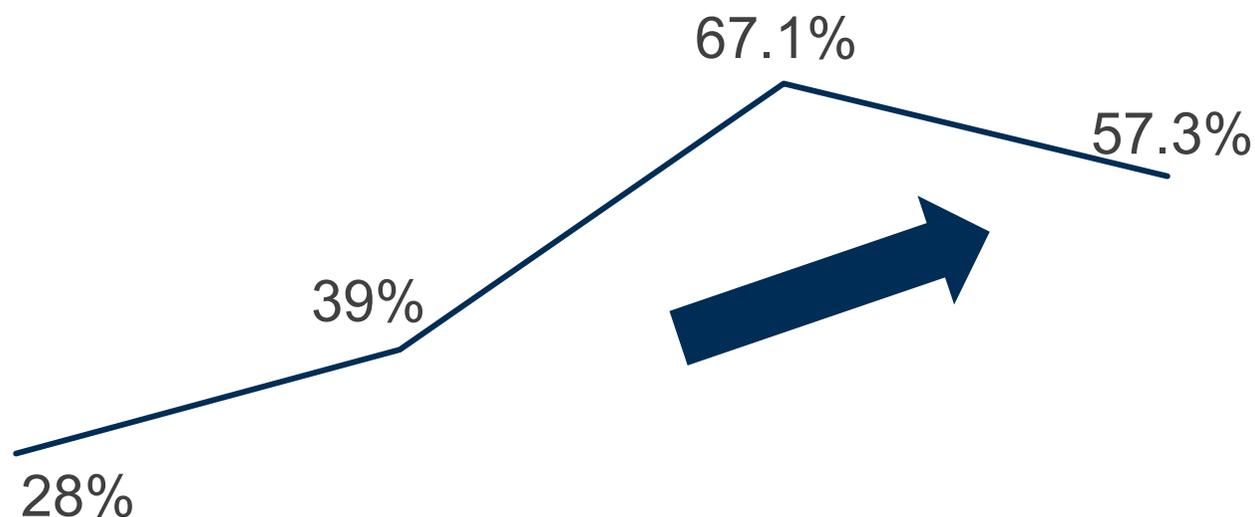
	増減額 (FY20期末 →FY21 2Q)	増減率 (増減÷ FY20期末)
支払手形及び買掛金	55.3	+58%
有利子負債	81.1	+169%
その他流動負債	▲38.2	▲40%
その他固定負債	▲0.6	▲8%
純資産	▲39.3	▲8%

2022年3月期・2Q キャッシュフロー



2022年3月期・2Q 自己資本比率

財務体質の強化、自己資本比率の向上に取り組んでおります



— 自己資本比率

2019年3月期
(FY2018) 実績

2020年3月期
(FY2019) 実績

2021年3月期
(FY2020) 実績

2022年3月期
(FY2021) 2Q実績

2022年3月期 業績予想

2022年3月期 業績予想

中長期の成長分野への投資および安定した利益の確保を目指します

(単位:百万円)		2022/3期 (FY2021) 通期予想 今回	2022/3期 (FY2021) 通期予想 前回	2021/3期 (FY2020) 通期実績
連結	売上高	76,000	65,500	83,814
	営業利益	6,000	4,300	5,025
	経常利益	6,000	3,700	3,912
	親会社株主に帰属する当期純利益	4,000	2,400	20,920
	1株利益(円)	197.60	110.28	961.28

※2021年3月期 第2四半期より、SiTimeはメガチップスの連結子会社から持分法関連会社に異動しています

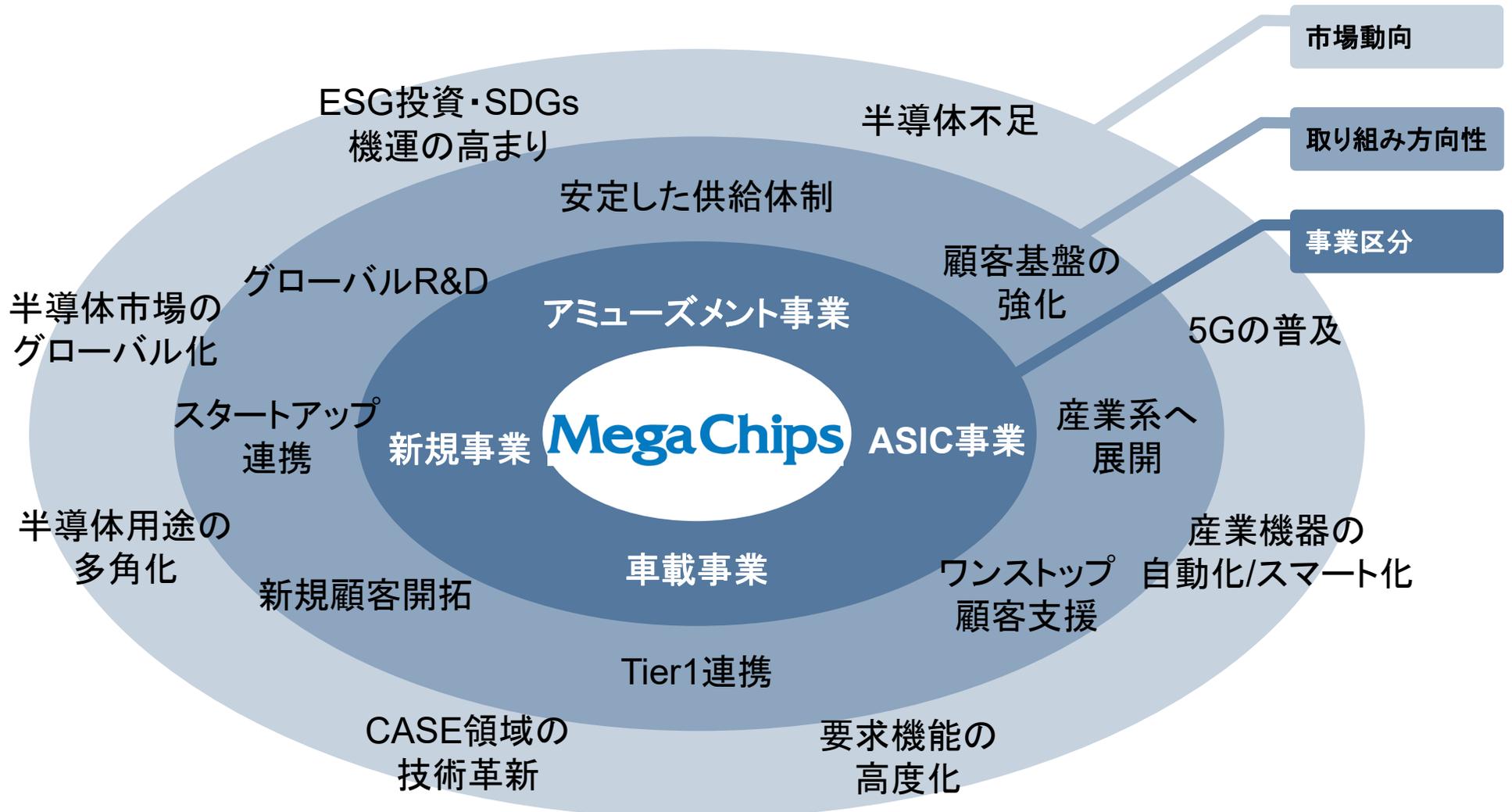
※2021年3月期 期末為替レート:米ドル 110.71円

※2022年3月期 前提為替レート:米ドル 105円

各事業の取り組み現状

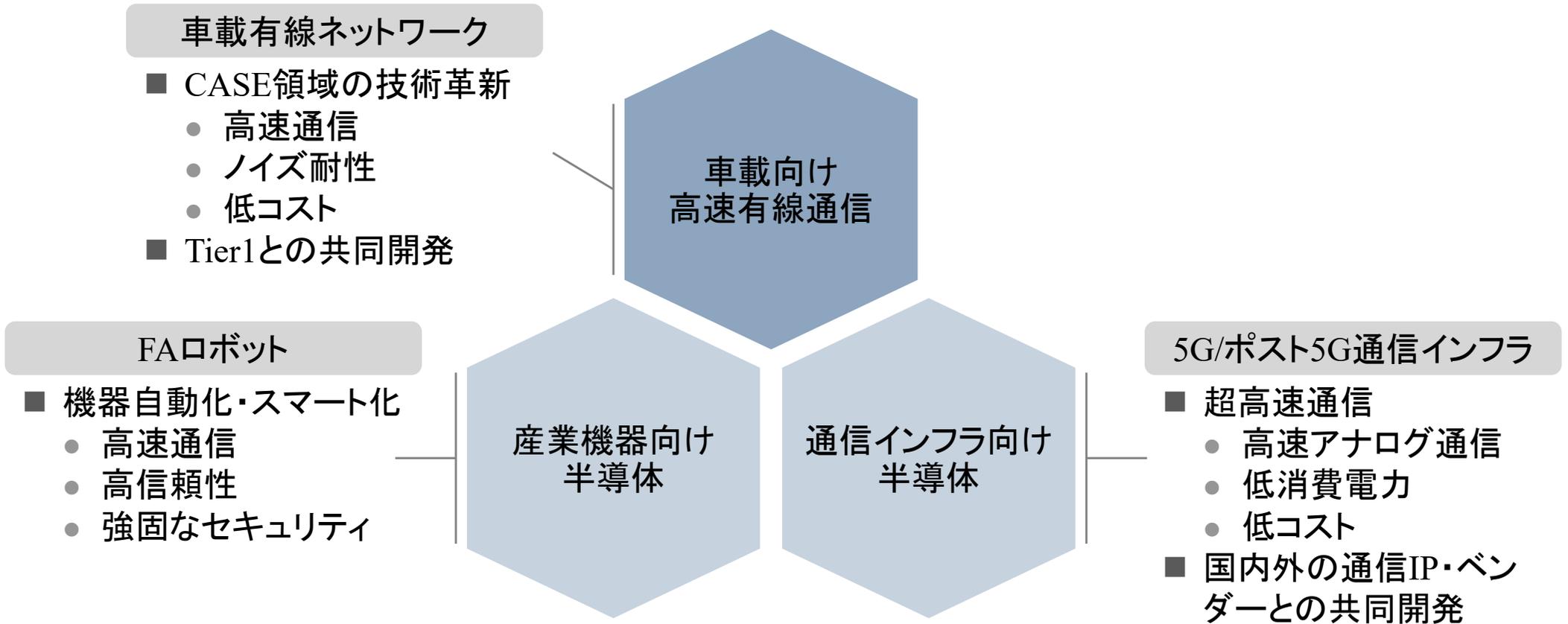
メガチップスを取り巻く事業環境

アミューズメント・ASIC・車載・新規事業を4本柱とし、ダイナミックな市場動向を捉えた事業拡大を目指します



ASIC・車載事業における技術開発

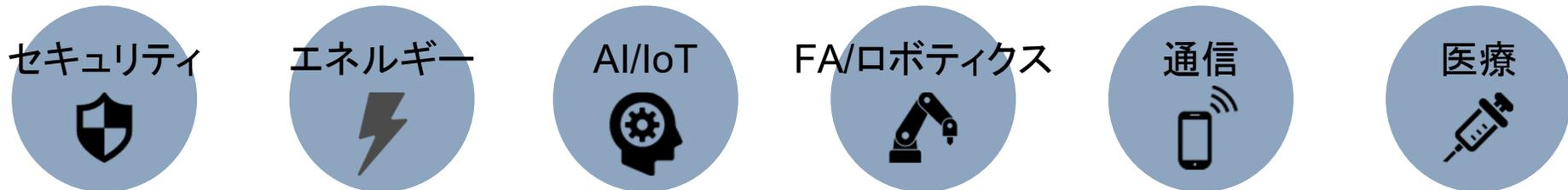
ASIC・車載事業について、市場動向の変化を見据えた技術・アプリケーションを開発中です



新規事業におけるグローバル・産学連携

米国を中心に最先端の技術やアイデアを持つスタートアップ企業との戦略的提携や事業投資を行い、多様化する半導体ニーズに応えます

グローバルサプライヤーとして多様化する半導体ニーズに応える



連携事例

Silicon Briteとの
戦略的パートナーシップ

- アナログ半導体における相互の強みを補完し、共同開発を実施

Santa Clara Universityとの
産学連携

- ロボティクス分野を始めとした研究開発・人材育成を進め、将来的な新規事業の創出に繋げる

IRポリシー

≫ 基本姿勢

当社は、「公平性」「適時性」「正確性」「継続性」に配慮して、経営戦略や財務状態等の会社情報を発信し、経営の「透明性」を高めるとともに、株主・投資家・証券アナリストの皆さまからの当社に対する信頼と適切な評価を得るために、経営者自ら積極的なIR活動に取り組めます。

≫ 情報開示の基準

当社は、金融商品取引法、会社法等の諸法令(以下、「法令」)、また当社の株式が上場されている東京証券取引所の定める「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示に関する規則」(以下、「適時開示規則」)を遵守してディスクロージャーを行います。また、法令ならびに適時開示規則に規定される開示基準に該当しない場合でも、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報や、当社への理解を深めていただく上で有用であると思われる情報は、積極的に開示します。

≫ 情報開示の方法

当社は、適時開示規則に定める開示基準に該当する情報、株主・投資家・証券アナリストの皆さまの投資判断に影響を与えられられる情報は、適時開示規則に従い、東京証券取引所が運用する適時開示情報伝達システム Timely Disclosure network (TDnet) を通じて開示するとともに、速やかに当社のインターネット上に開設するホームページ(以下、「ホームページ」)に掲示します。

また、これら以外の情報についても、当社を理解していただく上で有用であると思われる情報は、IR情報誌等の発行や、ニュースリリースの配信やホームページへの掲載を通じて情報発信します。

IRポリシー

≫ 将来の見通しについて

当社が開示する情報の中で、業績予想や将来の予測等に関する記述は、その情報が開示される時点で経営者が入手した情報に基づき判断した予想であり、不確実性や潜在的なリスク(以下、「リスク」)が含まれる場合があります。しかし、結果としての業績等は、変化するさまざまな要因によって、予想とは異なることがありますことをご承知おきください。これらリスクは「事業等のリスク」として開示に努めますのでご参照ください。

≫ 投資の判断

当社の開示する情報は、当社に対する理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の判断において行なわれますようお願いいたします。

≫ 第三者が発行する当社情報への対応

証券アナリストや報道機関、インターネット上のさまざまな情報サイト等の当社以外の第三者が発信する、当社の情報・業績予想等各種情報については、当社はコメントやこれらを支持する立場にはありません。ただし、これらの内容に明らかな誤りが含まれており、当社への信頼と適切な評価が得られないと判断する場合には、その誤りを訂正し、正確な情報を伝えるための対応を行います。

≫ IR沈黙期間

当社は、株価に影響を与える決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、各四半期の、決算日含め5営業日前から決算発表日までを沈黙期間と定めます。この期間中は、決算に関連するお問い合わせへのコメントを控えさせていただきますので、ご理解いただきますようお願いいたします。ただし、法令や適時開示規則に該当する情報については、沈黙期間中であってもディスクロージャーを行った後、お問い合わせに対応いたします。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社メガチップス

管理統括部 財務部

ir-team@megachips.co.jp

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目1-1 新大阪阪急ビル

TEL: 06 - 6399 - 2884(代) FAX: 06 - 6399 - 2886